

# Express5800/R120f-2E,T120f ご使用時の注意事項

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
本製品を使用するときは、下記内容を確認し、記載された注意事項に従って対応してください。  
また、本書は必要なときにすぐに参照できるよう大切に保管してください。

## 注意事項

### N8150-470/471/472/473/474/490/476/477/478/498/499/500/501/503 (4KB セクタ HDD) 使用時の注意事項

4KB セクタ HDD から Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 R2 を起動するとき、STOP エラーが発生することがあります。

該当する製品で Windows Server 2012 R2 を運用するときは、次の Web サイトを確認して回避策を設定してください。

<http://support.express.nec.co.jp/4khdd/>

### ハードウェアの追加、変更時の注意事項

次のハードウェアを追加/変更したときは、BIOS セットアップユーティリティ(SETUP)を起動して[Server] - [Power Measurement Policy]を[One Time]に設定し、[Save & Exit] - [Save Changes and Exit]を実行してください。

- a) プロセッサの取り付け、取り外し
- b) DIMMの取り付け、取り外し

### Shared BMC LANを使用する場合の注意事項

UEFIモード時、オフラインツールのネットワーク設定でConnection Type の設定ができません。  
次のようにしてLegacyモード に変更した後に設定するか、または各種OS上から設定してください。

#### ブートモードの変更

- 1) POST時、<F2>キーを押してBIOSセットアップユーティリティを起動します。
- 2) [Boot] - [Boot Mode]の設定を確認します。
- 3) UEFIのときは、Legacyに変更して[Save & Exit] - [Save Changes and Exit] を実行します。
- 4) Legacyのときは、[Save & Exit] - [Discard Changes and Exit]を実行します。

#### 設定の変更

- 1) 上記方法によりブートモードをLegacyに変更します。
- 2) 再起動した後、POST時に<F4>キーを押してオフラインツールを起動します。
- 3) メニューからキーボードの種類を選択します。
- 4) [Server Configuration Utility] - [EXPRESSSCOPE Engine 3] - [Configuration] - [Network] - [IPv4 Property] からConnection Type を設定します。
- 5) 設定後、必要に応じてUEFIモードに変更します。

### インテル(R) Xeon(R) プロセッサ E5-2600v3 製品ファミリー使用時の注意事項

Machine Check Exception (MCE)が発生し、Windows上にHW Errorとして記録されることがあります。  
または、Linux OSの場合は、Machine Check events (MCE)が発生し、Hardware Error (Corrected error)として記録されます。

これらのエラーは自動的に修正されており、パフォーマンス低下や、システム運用への影響はありません。  
そのまま使用してください。

## Windows 上で休止モードを使用する場合の注意事項

下記のEXPRESSSCOPEエンジン3の機能を使用している状態で、休止モードを使用すると、休止モードからの復帰時にWindows上のイベントログに予期せぬシャットダウン、イベントID 11のエラーが登録される場合がありますが、本装置の使用上の制限によるものでありシステム運用上の影響はありません。

- 1) リモートメディア機能を使用中
- 2) イメージリダイレクション機能を使用中

## N8103-176/177/178/179 RAIDコントローラ 使用時の注意事項

論理ドライブ (Virtual Drive) の最大数量について

本装置では、作成可能な論理ドライブは最大31個になります。

RAIDコントローラのコンフィグレーションユーティリティ (Ctrl-R/HII) や Universal RAID Utility から、32個以上の論理ドライブを作成しないでください。

(RAIDコントローラのコンフィグレーションユーティリティに関する詳細は、RAIDコントローラのユーザーズガイドを参照ください)。

## Cluster On Die 設定、Early Snoop 設定について

システムBIOSのセットアップユーティリティ (SETUP) の [Advanced] - [Memory Configuration] サブメニューにおける、Cluster On Die項目をEnabledにする場合は、DIMM搭載枚数にご注意ください。

- 1CPU構成時  
少なくとも、CPU1\_DIMM1 ~ DIMM3スロット全てにDIMMを搭載すること。
- 2CPU構成時  
少なくとも、CPU1\_DIMM1 ~ DIMM3スロットおよびCPU2\_DIMM1 ~ DIMM3スロット全てにDIMMを搭載すること。

プロセッサのCluster On Die機能を有効活用するために、次のDIMM搭載枚数を推奨します。

- 1CPU構成時  
CPU1\_DIMM1 ~ DIMM4スロットにDIMMを搭載する。  
もしくは、CPU1\_DIMM1 ~ DIMM8スロットにDIMMを搭載する。
- 2CPU構成時  
CPU1\_DIMM1 ~ DIMM4スロットおよびCPU2\_DIMM1 ~ DIMM4スロットにDIMMを搭載する。  
もしくは、CPU1\_DIMM1 ~ DIMM8スロットおよびCPU2\_DIMM1 ~ DIMM8スロットにDIMMを搭載する。

なお、DIMMの搭載順序につきましては、ユーザーズガイドを参照してください。

- 1CPU構成時 (Memory RAS Mode: Independent)

DIMM搭載数	Cluster On Die機能	対象DIMMスロット
1 枚	利用不可	CPU1_DIMM1
2 枚	利用不可	CPU1_DIMM1 ~ CPU1_DIMM2
3 枚	利用可	CPU1_DIMM1 ~ CPU1_DIMM3
4 枚	利用可 (推奨)	CPU1_DIMM1 ~ CPU1_DIMM4
5 枚	利用可	CPU1_DIMM1 ~ CPU1_DIMM5
6 枚	利用可	CPU1_DIMM1 ~ CPU1_DIMM6
7 枚	利用可	CPU1_DIMM1 ~ CPU1_DIMM7
8 枚	利用可 (推奨)	CPU1_DIMM1 ~ CPU1_DIMM8

- 1CPU構成時 (Memory RAS Mode: Independent/ Mirroring/ Lockstep)

DIMM搭載数	Cluster On Die機能	対象DIMMスロット
2 枚	利用不可	CPU1_DIMM1 ~ CPU1_DIMM2
4 枚	利用可 (推奨)	CPU1_DIMM1 ~ CPU1_DIMM4
6 枚	利用可	CPU1_DIMM1 ~ CPU1_DIMM6
8 枚	利用可 (推奨)	CPU1_DIMM1 ~ CPU1_DIMM8

● 1CPU構成時(Memory RAS Mode: Sparing)

DIMM搭載数	Cluster On Die機能	対象DIMMスロット
2 枚	利用不可	CPU1_DIMM1 & CPU1_DIMM5
4 枚	利用不可	CPU1_DIMM1 ~ CPU1_DIMM2 CPU1_DIMM5 ~ CPU1_DIMM6
6 枚	利用可	CPU1_DIMM1 ~ CPU1_DIMM3 CPU1_DIMM5 ~ CPU1_DIMM7
8 枚	利用可(推奨)	CPU1_DIMM1 ~ CPU1_DIMM8

● 2CPU構成時(Memory RAS Mode: Independent)

DIMM搭載数	Cluster On Die機能	対象DIMMスロット
1 枚	利用不可	CPU1_DIMM1
2 枚	利用不可	CPU1_DIMM1 & CPU2_DIMM1
3 枚	利用不可	CPU1_DIMM1 ~ CPU1_DIMM2 CPU2_DIMM1
4 枚	利用不可	CPU1_DIMM1 ~ CPU1_DIMM2 CPU2_DIMM1 ~ CPU2_DIMM2
5 枚	利用不可	CPU1_DIMM1 ~ CPU1_DIMM3 CPU2_DIMM1 ~ CPU2_DIMM2
6 枚	利用可	CPU1_DIMM1 ~ CPU1_DIMM3 CPU2_DIMM1 ~ CPU2_DIMM3
7 枚	利用可	CPU1_DIMM1 ~ CPU1_DIMM4 CPU2_DIMM1 ~ CPU2_DIMM3
8 枚	利用可(推奨)	CPU1_DIMM1 ~ CPU1_DIMM4 CPU2_DIMM1 ~ CPU2_DIMM4
9 枚	利用可	CPU1_DIMM1 ~ CPU1_DIMM5 CPU2_DIMM1 ~ CPU2_DIMM4
10 枚	利用可	CPU1_DIMM1 ~ CPU1_DIMM5 CPU2_DIMM1 ~ CPU2_DIMM5
11 枚	利用可	CPU1_DIMM1 ~ CPU1_DIMM6 CPU2_DIMM1 ~ CPU2_DIMM5
12 枚	利用可	CPU1_DIMM1 ~ CPU1_DIMM6 CPU2_DIMM1 ~ CPU2_DIMM6
13 枚	利用可	CPU1_DIMM1 ~ CPU1_DIMM7 CPU2_DIMM1 ~ CPU2_DIMM6
14 枚	利用可	CPU1_DIMM1 ~ CPU1_DIMM7 CPU2_DIMM1 ~ CPU2_DIMM7
15 枚	利用可	CPU1_DIMM1 ~ CPU1_DIMM8 CPU2_DIMM1 ~ CPU2_DIMM7
16 枚	利用可(推奨)	CPU1_DIMM1 ~ CPU1_DIMM8 CPU2_DIMM1 ~ CPU2_DIMM8

● 2CPU構成時(Memory RAS Mode: Mirroring/ Lockstep)

DIMM搭載数	Cluster On Die機能	対象DIMMスロット
4 枚	利用不可	CPU1_DIMM1 ~ CPU1_DIMM2 CPU2_DIMM1 ~ CPU2_DIMM2
6 枚	利用不可	CPU1_DIMM1 ~ CPU1_DIMM4 CPU2_DIMM1 ~ CPU2_DIMM2
8 枚	利用可(推奨)	CPU1_DIMM1 ~ CPU1_DIMM4 CPU2_DIMM1 ~ CPU2_DIMM4
10 枚	利用可	CPU1_DIMM1 ~ CPU1_DIMM6 CPU2_DIMM1 ~ CPU2_DIMM4
12 枚	利用可	CPU1_DIMM1 ~ CPU1_DIMM6 CPU2_DIMM1 ~ CPU2_DIMM6
14 枚	利用可	CPU1_DIMM1 ~ CPU1_DIMM8 CPU2_DIMM1 ~ CPU2_DIMM6
16 枚	利用可(推奨)	CPU1_DIMM1 ~ CPU1_DIMM8 CPU2_DIMM1 ~ CPU2_DIMM8

● 2CPU構成時(Memory RAS Mode: Sparring)

DIMM搭載数	Cluster On Die機能	対象DIMMスロット
4 枚	利用不可	CPU1_DIMM1 & CPU1_DIMM5 CPU2_DIMM1 & CPU2_DIMM5
6 枚	利用不可	CPU1_DIMM1 ~ CPU1_DIMM2 CPU1_DIMM5 ~ CPU1_DIMM6 CPU2_DIMM1 & CPU2_DIMM5
8 枚	利用不可	CPU1_DIMM1 ~ CPU1_DIMM2 CPU1_DIMM5 ~ CPU1_DIMM6 CPU2_DIMM1 ~ CPU2_DIMM2 CPU2_DIMM5 ~ CPU2_DIMM6
10 枚	利用不可	CPU1_DIMM1 ~ CPU1_DIMM3 CPU1_DIMM5 ~ CPU1_DIMM7 CPU2_DIMM1 ~ CPU2_DIMM2 CPU2_DIMM5 ~ CPU2_DIMM6
12 枚	利用可	CPU1_DIMM1 ~ CPU1_DIMM3 CPU1_DIMM5 ~ CPU1_DIMM7 CPU2_DIMM1 ~ CPU2_DIMM3 CPU2_DIMM5 ~ CPU2_DIMM7
14 枚	利用可	CPU1_DIMM1 ~ CPU1_DIMM8 CPU2_DIMM1 ~ CPU2_DIMM3 CPU2_DIMM5 ~ CPU2_DIMM7
16 枚	利用可(推奨)	CPU1_DIMM1 ~ CPU1_DIMM8 CPU2_DIMM1 ~ CPU2_DIMM8

## メモリ機能利用時の注意事項

Express5800/R120f-2E ユーザーズガイド「1.11.7 メモリ機能の利用」、およびExpress5800/T120f ユーザーズガイド「1.9.7 メモリ機能の利用」において、不要な手順を削除します。  
以下の手順に従って設定してください。

### (1) メモリミラーリング機能

この機能を利用するための条件は次のとおりです。

- ミラーセットを構成するDIMM ソケットにDIMM を搭載してください。
- ミラーセットに搭載するDIMM は同一型番のものを使用してください。
- メンテナンスガイドの「2章(1.システムBIOS)」を参照し、次のパラメーターを変更して設定を保存してください。  
Advanced Memory configuration Memory RAS Mode を「Mirroring」に変更。
- 再起動後、メンテナンスガイドの「2章(1.システムBIOS)」を参照して次のパラメーターが「Mirrored」と表示されていることを確認してください。  
Advanced Memory configuration Memory Information の「CPUx\_DIMMx Status」の項目に「Mirrored」と表示されていることを確認。
- メモリミラーリング機能とメモリロックステップ機能は併用できません。
- DIMM はCPU 構成により搭載順序が異なります。次の順序で搭載してください。

### (3) メモリスペアリング機能

この機能を利用するための条件は次の通りです。

- スペアセットを構成するDIMM ソケットにDIMM を搭載してください。
- スペアリング機能を利用するにはシステム内に搭載するDIMM はすべて同一型番のDIMM を搭載してください。
- メンテナンスガイドの「2章(1.システムBIOS)」を参照し、次のパラメーターを変更して設定を保存してください。  
Advanced Memory configuration Memory RAS Mode を「Sparing」に変更。
- 再起動後、メンテナンスガイドの「2章(1.システムBIOS)」を参照して次のパラメーターが「Spared」と表示されていることを確認してください。  
Advanced Memory configuration Memory Information の「CPUx\_DIMMx Status」の項目に「Spared」と表示されていることを確認。
- DIMM はCPU 構成により搭載順序が異なります。次の順序で搭載してください。

## 訂正および追補

### ユーザーズガイド誤記訂正

ユーザーズガイドの記載内容に一部誤記があります。

恐れ入りますが、下記の内容をご一読いただきご使用いただきますようお願い申し上げます。

(注)ユーザーズガイドは、添付のDVD-ROM「EXPRESSBUILDER」の中にオンラインドキュメントとして収録されています。

Express5800/R120f-2E ユーザーズガイド (P29)

(誤)

(14)POWER スイッチ/ランプ

電源を ON/OFF するスイッチ。一度押すと POWER ランプが点灯し、ON の状態になる。

もう一度押すと電源を OFF にする。4 秒以上押し続けると強制的に電源を OFF にする。

( 35 ページ)

(正)

(14)POWER スイッチ

電源を ON/OFF するスイッチ。一度押すと POWER ランプが点灯し、ON の状態になる。

もう一度押すと電源を OFF にする。4 秒以上押し続けると強制的に電源を OFF にする。

(誤)

(15) UID(ユニット ID)スイッチ/ランプ

ユニット ID ランプを ON/OFF するスイッチ。一度押すと UID ランプが点灯し、ON の状態になる。

もう一度押すと OFF にする。ソフトウェアからのコマンドにより UID ランプが点灯または点滅する。

( 37 ページ)

(正)

(15) UID(ユニット ID)スイッチ

ユニット ID ランプを ON/OFF するスイッチ。一度押すと UID ランプが点灯し、ON の状態になる。

もう一度押すと OFF にする。

### メンテナンスガイド追記

メンテナンスガイドの記載内容に一部追記があります。

恐れ入りますが、下記の内容をご一読いただきご使用いただきますようお願い申し上げます。

(注)メンテナンスガイドは、添付のDVD-ROM「EXPRESSBUILDER」の中にオンラインドキュメントとして収録されています。

メンテナンスガイド (P205) Windows Server 2012 R2 システムログ

(追加)

7023	Service Control Manager	エラー	WMI Performance Adapter サービスは、次のエラーで終了しました: エラーを特定できません。
	OS起動時		システム動作上問題ありません。

## メンテナンスガイド誤記訂正

メンテナンスガイドの記載内容に一部誤記があります。

恐れ入りますが、下記の内容をご一読いただきご使用いただきますようお願い申し上げます。

(注)メンテナンスガイドは、添付のDVD-ROM「EXPRESSBUILDER」の中にオンラインドキュメントとして収録されています。

メンテナンスガイド (P70) (2) Memory Configuration サブメニュー

(誤)

項 目	パラメーター	説 明
Cluster On Die	[Disabled] Enabled	Cluster On Die機能の有効 / 無効を設定します。本項目は「NUMA」を[Enabled]に設定し、本機能をサポートしているプロセッサを搭載すると選択できます。 ● 次のOSでは、本項目を[Disabled]にしてください。 - VMware ESXi 5.5Update 2

(正)

項 目	パラメーター	説 明
Cluster On Die	[Disabled] Enabled	Cluster On Die機能の有効 / 無効を設定します。本項目は「NUMA」を[Enabled]に設定し、本機能をサポートしているプロセッサを搭載すると選択できます。 ● 次のOSでは、本項目を[Disabled]にしてください。 - VMware ESXi 5.5Update 2 - VMware ESXi 5.1Update 2

メンテナンスガイド (P84) i. MAC [XX:XX:XX:XX:XX:XX]サブメニュー

(誤)

項 目	パラメーター	説 明
Internet Protocol	[IP4] IP6 Autoconfigure	iSCSIのIPモードを設定します。

(正)

項 目	パラメーター	説 明
Internet Protocol	[IP4] IP6	iSCSIのIPモードを設定します。

## サポート OS の追加について

本機のサポートする OS の追加に伴い、本機に付属のドキュメントの記載を次のように読み替えてください。

### スタートアップガイド (Step 5)

(誤)

インストールしようとする OS に合わせ、BIOS の以下の設定を変更します。

	X2APIC*1	Boot Mode*2
Windows Server 2012 R2	Enabled	UEFI
Windows Server 2012	Enabled	UEFI
Windows Server 2008 R2	Disabled	Legacy
Windows Server 2008	Disabled	Legacy
Red Hat Enterprise Linux 6.5 (x86)	Disabled	Legacy
Red Hat Enterprise Linux 6.5 (x86_64)	Enabled	UEFI
VMware ESXi 5	Disabled	Legacy

\*1 Advanced メニューの Processor Configuration を選択します。

\*2 Boot メニューを選択します。

(正)

インストールしようとする OS に合わせ、BIOS の以下の設定を変更します。

	X2APIC*1	Boot Mode*2
Windows Server 2012 R2	Enabled	UEFI
Windows Server 2012	Enabled	UEFI
Windows Server 2008 R2	Disabled	Legacy
Windows Server 2008	Disabled	Legacy
<b>Red Hat(R) Enterprise Linux 7.1 (x86_64)</b>	<b>Enabled</b>	<b>UEFI</b>
Red Hat(R) Enterprise Linux 6.5 (x86)	Disabled	Legacy
Red Hat(R) Enterprise Linux 6.5 (x86_64)	Enabled	UEFI
<b>VMware ESXi 6</b>	<b>Disabled</b>	<b>Legacy</b>
VMware ESXi 5	Disabled	Legacy

\*1 Advanced メニューの Processor Configuration を選択します。

\*2 Boot メニューを選択します。

Express5800/R120f-2E ユーザーズガイド (P9)

Express5800/T120f ユーザーズガイド (P9)

(誤)

本書の表記	Linux OS の名称
Red Hat Enterprise Linux 6 Server	Red Hat Enterprise Linux 6 Server (x86)
	Red Hat Enterprise Linux 6 Server (x86_64)

(正)

本書の表記	Linux OS の名称
<b>Red Hat Enterprise Linux 7 Server</b>	<b>Red Hat Enterprise Linux 7 Server (x86_64)</b>
Red Hat Enterprise Linux 6 Server	Red Hat Enterprise Linux 6 Server (x86)
	Red Hat Enterprise Linux 6 Server (x86_64)



(誤)

OS	各 OS がサポートする 最大論理プロセッサ数	本機がサポートする 最大論理プロセッサ数
Microsoft Windows Server 2008 Standard Microsoft Windows Server 2008 Enterprise	32 *1	32
Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard (x64) Microsoft Windows Server 2008 R2 Enterprise (x64)	256 *1	48
Microsoft Windows Server 2012 Standard Microsoft Windows Server 2012 Datacenter Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard Microsoft Windows Server 2012 R2 Datacenter	640 *1	48
Red Hat Enterprise Linux 6 (x86)	32	32
Red Hat Enterprise Linux 6 (x86_64)	160	48
VMware ESXi 5.1	160	48
VMware ESXi 5.5	320	48

\*1: Hyper-V 利用時の最大論理プロセッサ数は、下記となります。

- Windows Server 2008: 最大論理プロセッサ数 24
- Windows Server 2008 R2: 最大論理プロセッサ数 64
- Windows Server 2012, Windows Server 2012 R2: 最大論理プロセッサ数 320

(正)

OS	各 OS がサポートする 最大論理プロセッサ数	本機がサポートする 最大論理プロセッサ数
Microsoft Windows Server 2008 Standard Microsoft Windows Server 2008 Enterprise	32 *1	32
Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard (x64) Microsoft Windows Server 2008 R2 Enterprise (x64)	256 *1	48
Microsoft Windows Server 2012 Standard Microsoft Windows Server 2012 Datacenter Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard Microsoft Windows Server 2012 R2 Datacenter	640 *1	48
Red Hat Enterprise Linux 6 (x86)	32	32
Red Hat Enterprise Linux 6 (x86_64) <b>Red Hat Enterprise Linux 7 (x86_64)</b>	260	48
VMware ESXi 5.1	160	48
VMware ESXi 5.5 <b>VMware ESXi 6.0</b>	320	48

\*1: Hyper-V 利用時の最大論理プロセッサ数は、下記となります。

- Windows Server 2008: 最大論理プロセッサ数 24
- Windows Server 2008 R2: 最大論理プロセッサ数 64
- Windows Server 2012, Windows Server 2012 R2: 最大論理プロセッサ数 320

(誤)

最大メモリ容量一覧

OS	各 OS がサポートする 最大 DIMM 容量	本機がサポートする 最大 DIMM 容量
Microsoft Windows Server 2008 Standard *1	4GB	4GB (HW-DEP 機能を利用する場合*) * 出荷時のデフォルト設定
		約 2GB (HW-DEP 機能を利用しない場合*) * BIOS の「Execute Disable Bit(XD Bit)」 が Disable 設定
Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard *1	32GB	32GB
Microsoft Windows Server 2008 Enterprise *1	64GB	64GB
Microsoft Windows Server 2008 R2 Enterprise *1	2TB	512GB
Microsoft Windows Server 2012 Standard *1 Microsoft Windows Server 2012 Datacenter *1 Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard *1 Microsoft Windows Server 2012 R2 Datacenter *1	4TB	512GB
Red Hat Enterprise Linux 6 (x86)	16GB	16GB
Red Hat Enterprise Linux 6 (x86_64)	6TB	512GB
VMware ESXi 5.1 *2	2TB	512GB
VMware ESXi 5.5 *2	4TB	512GB

\*1: Hyper-V 利用時の最大メモリ容量は、下記になります。

- Windows Server 2008 Standard, Windows Server 2008 R2 Standard : 最大メモリ容量 32GB
- Windows Server 2008 Enterprise, Windows Server 2008 R2 Enterprise : 最大メモリ容量 1TB
- Windows Server 2012 ,Windows Server 2012 R2: 最大メモリ容量 4TB

\*2: 仮想マシンでの最大メモリ容量は 1 TB

(正)

最大メモリ容量一覧

OS	各 OS がサポートする 最大 DIMM 容量	本機がサポートする 最大 DIMM 容量
Microsoft Windows Server(R) 2008 Standard *1	4GB	4GB (HW-DEP 機能を利用する場合*) * 出荷時のデフォルト設定
		約 2GB (HW-DEP 機能を利用しない場合*) * BIOS の「Execute Disable Bit(XD Bit)」 が Disable 設定
Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard *1	32GB	32GB
Microsoft Windows Server 2008 Enterprise *1	64GB	64GB
Microsoft Windows Server 2008 R2 Enterprise *1	2TB	512GB
Microsoft Windows Server 2012 Standard *1 Microsoft Windows Server 2012 Datacenter *1 Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard *1 Microsoft Windows Server 2012 R2 Datacenter *1	4TB	512GB
Red Hat Enterprise Linux 6 (x86)	16GB	16GB
Red Hat Enterprise Linux 6 (x86_64)	6TB	512GB
<b>Red Hat Enterprise Linux 7 (x86_64)</b>		
VMware ESXi 5.1 *2	2TB	512GB
VMware ESXi 5.5 *2	4TB	512GB
<b>VMware ESXi 6.0 *2</b>		

\*1: Hyper-V 利用時の最大メモリ容量は、下記になります。

- Windows Server 2008 Standard, Windows Server 2008 R2 Standard : 最大メモリ容量 32GB
- Windows Server 2008 Enterprise, Windows Server 2008 R2 Enterprise : 最大メモリ容量 1TB
- Windows Server 2012 ,Windows Server 2012 R2: 最大メモリ容量 4TB

\*2: 仮想マシンでの最大メモリ容量は 1 TB

(誤)

カテゴリ	ケース	設定内容	備考
起動関連	ご使用になる OS に合わせてブートモードを UEFI モードに設定する	[Boot] - [Boot Mode]を[UEFI]に設定してください。 ・対象は以下の OS です。 - Red Hat Enterprise Linux 6(x86_64) - Windows Server 2012 - Windows Server 2012 R2	ご使用になる OS のインストールガイドのセットアップ前の確認事項に従い設定してください。 Windows 編： 〔1 章 Windows のインストール〕 Linux 編： 〔1 章 Linux のインストール〕
	ご使用になる OS に合わせてブートモードをレガシー BIOS モードに設定する	[Boot] - [Boot Mode]を[Legacy]に設定してください ・対象は以下の OS です。 - Red Hat Enterprise Linux 6(x86) - Windows Server 2008 - Windows Server 2008R2 - VMware ESXi 5	ご使用になる OS のインストールガイドのセットアップ前の確認事項に従い設定してください Windows 編： 〔1 章 Windows のインストール〕 Linux 編： 〔1 章 Linux のインストール〕

(正)

カテゴリ	ケース	設定内容	備考
起動関連	ご使用になる OS に合わせてブートモードを UEFI モードに設定する	[Boot] - [Boot Mode]を[UEFI]に設定してください。 ・対象は以下の OS です。 - Red Hat Enterprise Linux 6(x86_64) - <b>Red Hat Enterprise Linux 7(x86_64)</b> - Windows Server 2012 - Windows Server 2012 R2	ご使用になる OS のインストールガイドのセットアップ前の確認事項に従い設定してください。 Windows 編： 〔1 章 Windows のインストール〕 Linux 編： 〔1 章 Linux のインストール〕
	ご使用になる OS に合わせてブートモードをレガシー BIOS モードに設定する	[Boot] - [Boot Mode]を[Legacy]に設定してください ・対象は以下の OS です。 - Red Hat Enterprise Linux 6(x86) - Windows Server 2008 - Windows Server 2008R2 - VMware ESXi 5 - <b>VMware ESXi 6</b>	ご使用になる OS のインストールガイドのセットアップ前の確認事項に従い設定してください Windows 編： 〔1 章 Windows のインストール〕 Linux 編： 〔1 章 Linux のインストール〕

(誤)

カテゴリ	ケース	設定内容	備考
起動関連	ご使用になる OS に合わせて X2APIC を有効に設定する	Advanced] - [Processor Configuration] - [X2APIC] を [Enabled] に設定してください。 ・対象は以下の OS です。 - Red Hat Enterprise Linux 6(x86_64) - Windows Server 2012 - Windows Server 2012 R2	ご使用になる OS のインストールガイドのセットアップ前の確認事項に従い有効 / 無効を設定してください。 Windows 編 : 〔1 章 Windows のインストール〕 Linux 編 : 〔1 章 Linux のインストール〕
	ご使用になる OS に合わせて X2APIC を無効に設定する	[Advanced] - [Processor Configuration] - [X2APIC] を [Disabled] に設定してください。 ・対象は以下の OS です。 - Red Hat Enterprise Linux 6(x86) - Windows Server 2008 - Windows Server 2008R2 - VMware ESXi 5	ご使用になる OS のインストールガイドのセットアップ前の確認事項に従い有効 / 無効を設定してください。 Windows 編 : 〔1 章 Windows のインストール〕 Linux 編 : 〔1 章 Linux のインストール〕

(正)

カテゴリ	ケース	設定内容	備考
起動関連	ご使用になる OS に合わせて X2APIC を有効に設定する	Advanced] - [Processor Configuration] - [X2APIC] を [Enabled] に設定してください。 ・対象は以下の OS です。 - Red Hat Enterprise Linux 6(x86_64) - <b>Red Hat Enterprise Linux 7(x86_64)</b> - Windows Server 2012 - Windows Server 2012 R2	ご使用になる OS のインストールガイドのセットアップ前の確認事項に従い有効 / 無効を設定してください。 Windows 編 : 〔1 章 Windows のインストール〕 Linux 編 : 〔1 章 Linux のインストール〕
	ご使用になる OS に合わせて X2APIC を無効に設定する	[Advanced] - [Processor Configuration] - [X2APIC] を [Disabled] に設定してください。 ・対象は以下の OS です。 - Red Hat Enterprise Linux 6(x86) - Windows Server 2008 - Windows Server 2008R2 - VMware ESXi 5 - <b>VMware ESXi 6</b>	ご使用になる OS のインストールガイドのセットアップ前の確認事項に従い有効 / 無効を設定してください。 Windows 編 : 〔1 章 Windows のインストール〕 Linux 編 : 〔1 章 Linux のインストール〕

## Express5800/R120f-2E ユーザーズガイド (P153, P155, P157)

### (誤)

サポート OS	NEC サポート	Microsoft® Windows Server® 2008 Standard (RTM, SP2 以降) *6*7, Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise (RTM, SP2 以降) *6*7, Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard, Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise, Microsoft® Windows Server® 2012 Standard, Microsoft® Windows Server® 2012 Datacenter, Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard, Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter, Red Hat® Enterprise Linux® 6.5 以降(x86) *5*7, Red Hat® Enterprise Linux® 6.5 以降 (x86_64) *5, VMware ESXi™ 5.1 Update 2, VMware ESXi™ 5.5 Update 2 *9
---------	----------	---

\*5 サポートサービスの提供を受けるにはNECよりLinuxサービスセットの購入が必要です。同一メジャーバージョン内での対応となります。

\*6 Windows Server® 2008 x86のみサポート対象です。

\*7 E5-2650v3, E5-2660v3, E5-2680v3, E5-2690v3 搭載モデルは、サポート対象外です。

\*9 VMware ESXi™ 5.5のインストールには5GB以上の論理メモリ容量が必要です。

### (正)

サポート OS	NEC サポート	Microsoft® Windows Server® 2008 Standard (RTM, SP2 以降) *6*7, Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise (RTM, SP2 以降) *6*7, Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard, Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise, Microsoft® Windows Server® 2012 Standard, Microsoft® Windows Server® 2012 Datacenter, Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard, Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter, Red Hat® Enterprise Linux® 6.5 以降(x86) *5*7, Red Hat® Enterprise Linux® 6.5 以降 (x86_64) *5, <b>Red Hat® Enterprise Linux® 7.1 以降(x86_64) *5,</b> VMware ESXi™ 5.1 Update 2, VMware ESXi™ 5.5 Update 2 *9 <b>VMware ESXi™ 6.0 *9</b>
---------	----------	---

\*5 サポートサービスの提供を受けるにはNECよりLinuxサービスセットの購入が必要です。同一メジャーバージョン内での対応となります。

\*6 Windows Server® 2008 x86のみサポート対象です。

\*7 E5-2650v3, E5-2660v3, E5-2680v3, E5-2690v3 搭載モデルは、サポート対象外です。

\*9 VMware ESXi 5.5, **VMware ESXi 6.0** のインストールには5GB以上の論理メモリ容量が必要です。

## Express5800/T120f ユーザーズガイド (P157)

### (誤)

サポート OS	NEC サポート	Microsoft® Windows Server® 2008 Standard (RTM, SP2 以降) *4*5, Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise (RTM, SP2 以降) *4*5, Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard, Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise, Microsoft® Windows Server® 2012 Standard, Microsoft® Windows Server® 2012 Datacenter, Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard, Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter, Red Hat® Enterprise Linux® 6.5 以降(x86) *3*5, Red Hat® Enterprise Linux® 6.5 以降(x86_64) *3, VMware ESXi™ 5.1 Update 2, VMware ESXi™ 5.5 Update 2 *7
---------	----------	---

\*3 サポートサービスの提供を受けるにはNECよりLinuxサービスセットの購入が必要です。同一メジャーバージョン内での対応となります。

\*4 Windows Server® 2008 x86のみサポート対象です。

\*5 E5-2650v3, E5-2680v3 搭載モデルは、サポート対象外です。

\*7 VMware ESXi™ 5.5のインストールには5GB以上の論理メモリ容量が必要です。

### (正)

サポート OS	NEC サポート	Microsoft® Windows Server® 2008 Standard (RTM, SP2 以降) *4*5, Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise (RTM, SP2 以降) *4*5, Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard, Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise, Microsoft® Windows Server® 2012 Standard, Microsoft® Windows Server® 2012 Datacenter, Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard, Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter, Red Hat® Enterprise Linux® 6.5 以降(x86) *3*5, Red Hat® Enterprise Linux® 6.5 以降(x86_64) *3, <b>Red Hat® Enterprise Linux® 7.1 以降(x86_64) *3,</b> VMware ESXi™ 5.1 Update 2, VMware ESXi™ 5.5 Update 2 *7 <b>VMware ESXi™ 6.0 *7</b>
---------	----------	---

\*3 サポートサービスの提供を受けるにはNECよりLinuxサービスセットの購入が必要です。同一メジャーバージョン内での対応となります。

\*4 Windows Server® 2008 x86のみサポート対象です。

\*5 E5-2650v3, E5-2680v3 搭載モデルは、サポート対象外です。

\*7 VMware ESXi 5.5, **VMware ESXi 6.0** のインストールには5GB以上の論理メモリ容量が必要です。

## メンテナンスガイド(P10)

(誤)

・本書の表記	・Linux OS の名称
・ Red Hat Enterprise Linux 6 Server、または ・ Red Hat Enterprise Linux 6	・ Red Hat Enterprise Linux 6 Server (x86) ・ Red Hat Enterprise Linux 6 Server (x86_64)

(正)

・本書の表記	・Linux OS の名称
・ Red Hat Enterprise Linux 7 Server、または ・ Red Hat Enterprise Linux 7	・ Red Hat Enterprise Linux 7 Server (x86_64)
・ Red Hat Enterprise Linux 6 Server、または ・ Red Hat Enterprise Linux 6	・ Red Hat Enterprise Linux 6 Server (x86) ・ Red Hat Enterprise Linux 6 Server (x86_64)

## メンテナンスガイド(P66)

(誤)

項 目	パラメーター	説 明
X2APIC	Disabled [Enabled]	<p>X2APICの有効／無効を設定します。本項目は「VT-x」および「VT-d」を[Enabled]に設定すると選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次のOSでは、本項目を[Enabled]にしてください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- Red Hat Enterprise Linux 6(x86_64)</li> <li>- Windows Server 2012</li> <li>- Windows Server 2012 R2</li> </ul> </li> <li>・ 次のOSでは、本項目を[Disabled]にしてください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- Red Hat Enterprise Linux 6(x86)</li> <li>- Windows Server 2008</li> <li>- Windows Server 2008 R2</li> <li>- VMware ESXi 5</li> </ul> </li> </ul> <p>ご使用になるOSのインストールガイドのセットアップ前の確認事項に従い、有効／無効を設定してください。</p> <p>Windows編：〔1章 Windows のインストール〕 Linux編：〔1章 Linuxのインストール〕</p>

(正)

項 目	パラメーター	説 明
X2APIC	Disabled [Enabled]	<p>X2APICの有効／無効を設定します。本項目は「VT-x」および「VT-d」を[Enabled]に設定すると選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次のOSでは、本項目を[Enabled]にしてください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- Red Hat Enterprise Linux 6(x86_64)</li> <li>- <b>Red Hat Enterprise Linux 7(x86_64)</b></li> <li>- Windows Server 2012</li> <li>- Windows Server 2012 R2</li> </ul> </li> <li>・ 次のOSでは、本項目を[Disabled]にしてください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- Red Hat Enterprise Linux 6(x86)</li> <li>- Windows Server 2008</li> <li>- Windows Server 2008 R2</li> <li>- VMware ESXi 5</li> <li>- <b>VMware ESXi 6</b></li> </ul> </li> </ul> <p>ご使用になるOSのインストールガイドのセットアップ前の確認事項に従い、有効／無効を設定してください。</p> <p>Windows編：〔1章 Windows のインストール〕 Linux編：〔1章 Linuxのインストール〕</p>

(誤)

項 目	パラメーター	説 明
Boot Mode	Legacy [UEFI]	<p>ブートモードを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次のOSでは、本項目を[UEFI]にしてください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- Red Hat Enterprise Linux 6(x86_64)</li> <li>- Windows Server 2012</li> <li>- Windows Server 2012 R2</li> </ul> </li> <li>・ 次のOSでは、本項目を[Legacy]にしてください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- Red Hat Enterprise Linux 6(x86)</li> <li>- Windows Server 2008</li> <li>- Windows Server 2008 R2</li> <li>- VMware ESXi 5</li> </ul> </li> </ul> <p>ご使用になるOSのインストールガイドのセットアップ前の確認事項に従い、設定してください。</p> <p>Windows編：〔1章 Windows のインストール〕 Linux編：〔1章 Linuxのインストール〕</p>

(正)

項 目	パラメーター	説 明
Boot Mode	Legacy [UEFI]	<p>ブートモードを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次のOSでは、本項目を[UEFI]にしてください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- Red Hat Enterprise Linux 6(x86_64)</li> <li>- <b>Red Hat Enterprise Linux 7(x86_64)</b></li> <li>- Windows Server 2012</li> <li>- Windows Server 2012 R2</li> </ul> </li> <li>・ 次のOSでは、本項目を[Legacy]にしてください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- Red Hat Enterprise Linux 6(x86)</li> <li>- Windows Server 2008</li> <li>- Windows Server 2008 R2</li> <li>- VMware ESXi 5</li> <li>- <b>VMware ESXi 6</b></li> </ul> </li> </ul> <p>ご使用になるOSのインストールガイドのセットアップ前の確認事項に従い、設定してください。</p> <p>Windows編：〔1章 Windows のインストール〕 Linux編：〔1章 Linuxのインストール〕</p>

## メンテナンスガイド(P119)

(誤)

本機のサポート OS のうち、次の OS にて電力制御機能が利用できます。

Windows Server 2008 Standard  
Windows Server 2008 Enterprise  
Windows Server 2008 Standard (x64)  
Windows Server 2008 Enterprise (x64)  
Windows Server 2008 R2 Standard (x64)  
Windows Server 2008 R2 Enterprise (x64)  
Windows Server 2012 Standard (x64)  
Windows Server 2012 DataCenter (x64)  
Windows Server 2012 R2 Standard (x64)  
Windows Server 2012 R2 DataCenter (x64)  
Red Hat Enterprise Linux 6.5 以降 (x86)  
Red Hat Enterprise Linux 6.5 以降 (x86\_64)

(正)

本機のサポート OS のうち、次の OS にて電力制御機能が利用できます。

Windows Server 2008 Standard  
Windows Server 2008 Enterprise  
Windows Server 2008 Standard (x64)  
Windows Server 2008 Enterprise (x64)  
Windows Server 2008 R2 Standard (x64)  
Windows Server 2008 R2 Enterprise (x64)  
Windows Server 2012 Standard (x64)  
Windows Server 2012 DataCenter (x64)  
Windows Server 2012 R2 Standard (x64)  
Windows Server 2012 R2 DataCenter (x64)  
Red Hat Enterprise Linux 6.5 以降 (x86)  
Red Hat Enterprise Linux 6.5 以降 (x86\_64)  
**Red Hat Enterprise Linux 7.1 以降 (x86\_64)**

## メンテナンスガイド(P221, P222)

(誤)

Red Hat Enterprise Linux 6

(正)

Red Hat Enterprise Linux 6 もしくは Red Hat Enterprise Linux 7



# - M e m o -

## 本件に関するお問い合わせについて

本書の内容に不明点があった場合は、下記ファーストコンタクトセンターまでお問い合わせください。

お問い合わせ先：ファーストコンタクトセンター

T E L       : 03-3455-5800

受付時間     : 9:00～12:00 13:00～17:00 月曜日～金曜日(祝日を除く)

番号を間違えないよう確認した後、問い合わせてください。

---

**NEC**

855-911193-001-03

2015年 12月 4版